

石けんによる効果的な手指洗浄に関する検討

○岡本 有紀、高井 政貴（三浦工業株式会社）

【目的】 日常的な手洗いには一般的に石けんが使用されている。薬用石けんの除菌性能など洗浄剤の殺菌力に関する報告は数多く見受けられるが、手洗いに使用する水質の影響に関してはほとんど報告されていない。今回、石けんによる手洗いに及ぼす水質の影響について水中の硬度成分に着目して検討を行った。また、石けんに含まれている特に殺菌力の強い脂肪酸カリウムを用いた場合についても同様の検討を行った。

【方法・結果】 手の洗い方は日本食品衛生協会が推奨している日常の手洗い方法を参考にし、硬度約 80mg/L の水道水または硬度成分を含まない高純度軟化水により石けんを用いた 60 秒間の手洗い後、30 秒間のすすぎを行った。ペーパータオルで手を拭いてから一定時間後にグローブジュース法により手指の常在菌を回収して、血液寒天培地を用いた平板塗抹法により菌数を測定し、除菌性能を評価した。その結果、高純度軟化水と石けんで手洗いした方が水道水の場合よりも除菌効果が高く、手洗い後 1 時間までは高い除菌率を維持した。また、リノール酸と水酸化カリウムで調製したリノール酸 K 石けんと高純度軟化水で手洗いを行った場合、手洗い直後よりも 1 時間経過後の除菌率の方が高かった。高純度軟化水を用いた手洗いは石けんの除菌性能を効果的に引き出せる可能性が示唆された。